

# 奥会津インフラツーリズム

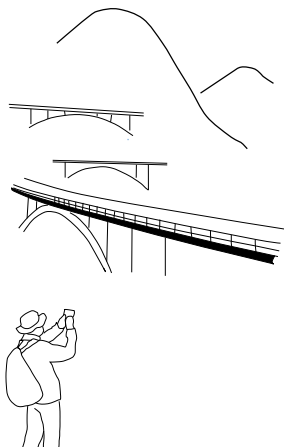
令和4年度 vol.1 「奥会津インフラツーリズムってなに？」

橋、ダム、トンネル、…  
主役は土木インフラ

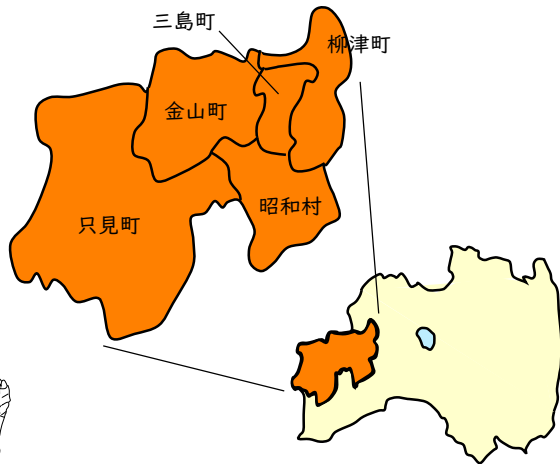
『インフラ』という言葉から  
何を思い浮かべますか？

私たちが生活をする上で基盤となる公共施設や整備のことで、電気やガス、水道、通信など身近なところにさまざまなものがあります。普段、何気なく通りかかったり目にしたりする橋やダム、鉄塔、道路などの土木施設もインフラの一つです。その土木施設が今、観光資源として注目を集めています。

インフラを観光資源として活用する「インフラツーリズム」は、ダムや工事現場など普段入ることのできない施設内部を見学し、スケール感の大きさや通常では味わえない非日常感を楽しみながら、防災や治水システムなどを学ぶことができます。魅力的な内容ですが認知度は低く、なかなか知られていないのが実のところ。国も2016年度から本腰を入れ、インフラツーリズムを推進しています。



## 「観光」という視点で インフラに着目



## 新

山や川の恵みを存分に受け、四季によって表情を変える奥会津。県内有数の観光名所で、国内外から観光客が足を運びます。しかし、この自然が脅威となって襲いかかってくることも自然と共存する地域だからこそ、人々の暮らしや命を守るための土木施設が奥会津にはたくさんあります。私たちは奥会津の土木施設にスポットを当て、観光につなげる取り組み『奥会津インフラツーリズム』を進めています。新たな観光資源が創られ人の往来が増えれば、地域の活性化にもつながります。

奥会津だから  
できること、見えるもの

## 例

奥会津インフラツーリズムは柳津町、三島町、金山町、昭和三村、只見町を対象に、その土地ならではの体験や食文化、景色を取り入れます。

例えば「体験」。峠道の保全や整備をする「道普請(みちぶしん)」は木材を運搬して釘を打つ昔ながらの工法で、全て手作業で立派な道を作ります。通常の観光ではなかなかできません。

自らの手で生み出した道が雪や雨に耐え、果たして無事なのか？道普請は作業が終わった後も、また奥会津を思い出し戻ってきたくなる、そんな体験です。



## 宮下アーチ3兄(橋)弟

撮影スポットもあるよ！

所在地：三島町宮下地内（JR只見線会津宮下駅から徒歩5分）

上から国道の新宮下橋、JR只見線の大谷川橋梁、県道の宮下橋で、3つのアーチ橋を同時に見ることができます。それぞれ順に長男、二男、三男と称し、「アーチ3兄(橋)弟」と名付けられています。



奥会津  
インフラ  
メモ①

そもそも、「奥会津インフラツーリズム」に需要ってあるの？奥会津の土木インフラの魅力って何？関心度は高い？

奥会津インフラツーリズムの定着化を目指し、令和2年度から一般の方や観光業の方々にもご協力をいただきながら、調査や分析を進めてきました。



### 定着化への道筋づくり

- ・ 推進事務局の設置
- ・ インフラ施設側の受入体制推進
- ・ 旅行会社を対象としたモニターツアーや商談会
- ・ テスト販売

- ・ 売り手側（旅行会社）のニーズを探る…
- ・ 商品流通の方法と並行して受入体制の整備も重要

1人では進められない…



### 今後の取り組み

奥会津を知り尽くす  
**地域の方々**

旅行商品をつくる  
**旅行会社**

インフラ施設を提供する  
**インフラ管理者**



3者が連携して  
持続可能な体制づくりを  
検討していきたい

### 基礎調査

- ・ インフラを観光目線で調査
- ・ 一般消費者を対象としたモニターツアー



ふむふむなるほど

- ・ 買い手側（消費者）のニーズを探る…
- ・ 高評価のインフラがあった！
- ・ 観光コンテンツとして広く認知されるためには、「この場所ならではの体験・地元との交流・ガイドのわかりやすさ」が今後、鍵となる



みなさーん  
聞いてくださいーい

### 定着化

- ・ 推進事務局の設置
- ・ 旅行会社を対象としたモニターツアーや商談会
- ・ 情報発信の強化
- ・ 旅行商品の造成支援

- ・ 定番の人気商品へと磨き上げる
- ・ インフラ見学には、非日常感などの付加価値を付けることがポイント
- ・ さらに、奥会津地域の特色も加味

奥会津の **絶景**  
インフラ × 奥会津の **食**  
分かりやすい **ガイド**



### 【ご意見・お問い合わせ】

福島県会津若松建設事務所 企画調査課

MAIL : wakamatsu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp

TEL : 0242-29-5455

FAX : 0242-29-5459

### 編集後記

いつの間にか工事が始まり  
気がつくやうに完成している。や  
がて、見慣れた風景の一部  
に。土木インフラのイ  
メージって、ざっくりとこ  
んなものでした。

奥会津インフラツーリズム  
事業に携わって以来、ちよつ  
つと言いつつも「あれっ、土木インフラって  
芸術的じゃない？」と思うよ  
うに。外から太陽光が差し込  
むと雰囲気を変えるスノー  
シエツドやアーチ状になっ  
ている橋の曲線美など、不思議  
なこと今までただなんとなく  
見てきたものが、違ったも  
のに見えます。

まだまだ知らないアートを  
これからどんどん見つけてい  
きたいと思います！  
(吉田)